

2024年3月25日
株式会社サカイ引越センター

サカイ引越センター 宮崎大学と連携協定を締結しました

このたび、株式会社サカイ引越センターは国立大学法人宮崎大学との地方創生に関する連携協定を締結いたしました。宮崎大学にとっては、運輸業との連携協定は初となります。

今後は、学術研究および地域社会の発展を目指し、サカイ引越センターの保有するデータを、宮崎大学へ提供し、分析・研究することで、新しいビジネスモデルの構築に取り組んで行くとともに、学生のビジネススキルの向上にも寄与していきたいと考えております。

サカイ引越センターは行政との対話も深めて行く事で、産学官が連携していくことにより脱炭素社会の実現や地域創生などの地域社会の課題解決にも、協力して取り組んで参ります。



(左側より)株式会社サカイ引越センター 藤田 祥雄 総務部次長、安部 典之 社長室長、築城 聡 執行役員、笠原 悟志 執行役員、田島 哲康 代表取締役社長、宮崎大学 片岡 寛章 理事、鮫島 浩 学長、帖佐 悦男 理事、河野 愛 理事、明石 良 理事、佐藤 一仁 理事、淡野 公一 副学長

(左端)サカイ引越センターキャラクター「まごころパンダ」 (右端)宮崎大学のマスコットキャラクター「みやだいもうくん」

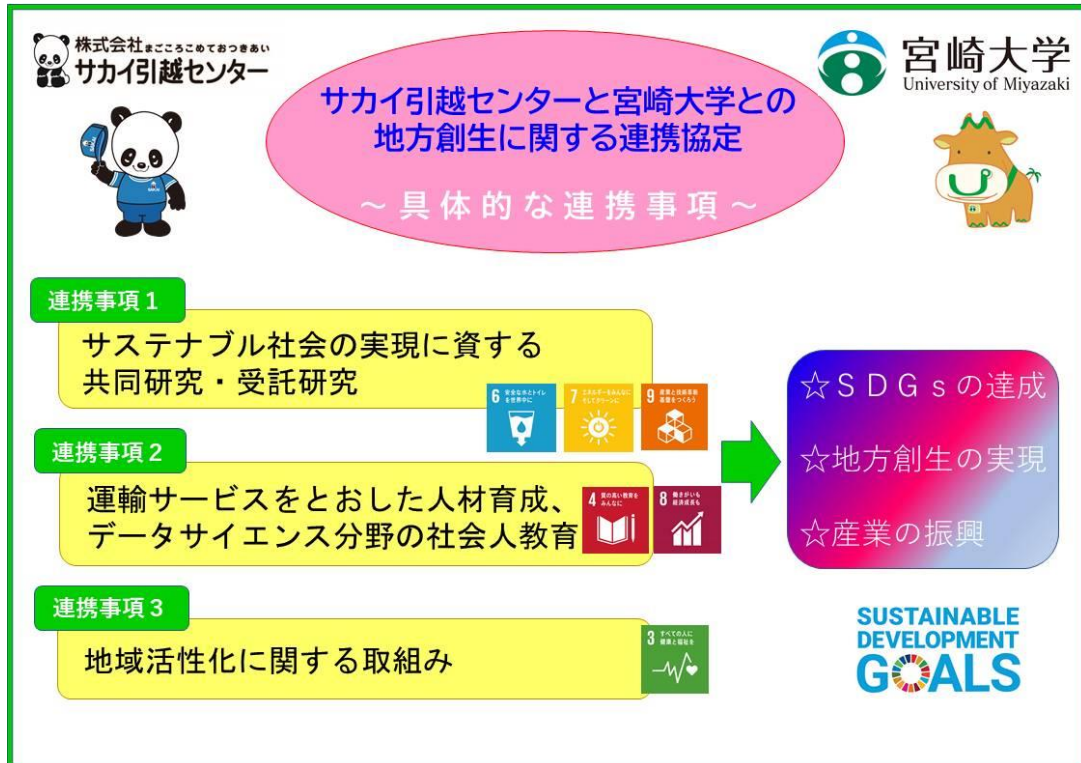
【協定項目】

- (1)サステナブル社会の実現に資する共同研究・受託研究。
- (2)運輸サービスをととした人材育成、データサイエンス分野の社会人教育。
- (3)地域活性化に関する取り組み。

—本件に関するお問い合わせ—

株式会社サカイ引越センター 広報課 嶋田・中西

Mail : sakaipr@hikkoshi-sakai.co.jp TEL : 072-241-0464 /FAX : 072-241-0191



株式会社サカイ引越センター 田島哲康 代表取締役社長の挨拶(一部抜粋)

弊社は、これまで引越業界No.1企業として、数多くのお客様の新生活を応援してまいりました。しかしながら、少子高齢化や気候変動などに代表される環境の変化、また、急速に進むデジタル化によって、顧客のニーズは多様化し、社会からの要請もより複雑なものとなってまいりました。

弊社といたしましては、あらゆるステークホルダーの期待に応えるべく、市場動向を正確に把握し、より効率的なサービスを提供していきたいと考えております。そのためには、当社が引越サービスを通じて得た情報、すなわちビッグデータの活用が欠かせません。

この度の宮崎大学様との連携協定では、当社が事業活動の中で収集した生きたデータを活用・分析することにより、宮崎大学の学生の皆様が、実際のビジネスに関するスキルを身につけることが可能になるものと考えております。また、当社もその研究成果を取り入れることで、より高度なサービスの提供と、新しいビジネスの創造につなげていくことができ、引越だけにとどまらない引越に関連する様々な市場を広げていけると思います。このことから、当社が目指す『世界ーの新生活応援グループ』に近づくと考えております。

今後、双方が持つ強みを生かした研究を進めることにより、社会に貢献する人材の育成や、ビジネスを通じた社会課題の解決を目指します。そして、この取り組みを更に発展させ、ここ宮崎県をはじめとした行政との対話を深め、産学官が連携していくことにより災害リスクの低減、脱炭素社会の実現や地域創生などの地域社会の課題解決にも、協力して取り組んでまいります。

— 本件に関するお問い合わせ —

株式会社サカイ引越センター 広報課 嶋田・中西

Mail : sakaipr@hikkoshi-sakai.co.jp TEL : 072-241-0464 /FAX : 072-241-0191

質疑応答

Q.引越のデータからどのようなことができるのか

A.【サカイ引越センター】年間約82万件の引越実績、約200万件の受注件数のビックデータを分析することで、地域活性化に繋がっていきたいと考えています。

どこから宮崎県に引越をして来るのか、宮崎県内での人の移動、トラックの走行データなど、分析していく中で、進む方向が見えてくると考えています。

A.【鮫島学長】「引越経済学」という言葉が出ましたが、引越によって人、物が動く毎に経済が関係します。新生活のための購入品にかかる金額や、重い物を運んで来ずに、地場産業内で買ってもらったほうがいいのか、または中古品を購入してもらったほうがいいのかなど、引越で経済がどれだけ活性するかや、CO2をどれだけ削減できるかなど、大きな学問ができる可能性を感じています。

引越サービスという新しい視点を持ち、総合的に考えることを大学でやってみることは、面白い方向に発展する可能性を感じています。

Q.大学との連携はこれまでもあったのか

A.【サカイ引越センター】2023年3月に、滋賀大学と連携協定を結んでいます。

Q.宮崎大学にどのような魅力を感じたのか

A.【サカイ引越センター】宮崎県は、観光資源豊富な地域であり、さらに人流データ等と組み合わせることで、新たに生まれることがあると感じています。分析を進めていく中で、どんどんアイデアを広げていきたいと思えます。

Q.今回の協定は有効期限1年とのことだが、1年間でやりたいことは

A.【鮫島学長】まずはサカイ引越センターのビックデータを宮崎大学の専門家チームと分析を始めたい。1年間でどこまで進めるかはこれからだが、宮崎県と滋賀県を比較するだけでも見えてくるものがあると考えています。1年間で終わるとは考えていないので、長い目で分析を続けていきたい。



— 一件件に関するお問い合わせ —

株式会社サカイ引越センター 広報課 嶋田・中西

Mail : sakaipr@hikkoshi-sakai.co.jp TEL : 072-241-0464 / FAX : 072-241-0191